

教師ノート

日付	2016年12月18日
単元	クリスマス
テーマ	羊飼いの証し
タイトル	すべての人を照らす光、イエス様
テキスト	ルカ 2:1-20
参照箇所	暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい) ヨハネ 1:9
AG 日曜学校教案参照箇所	幼1「神様からの贈り物」、下2「最初のクリスマス」、上1「イエス様の誕生」、上2「イエス様の誕生」
□導入	<p>イエス様が生まれたのは、きれいな部屋ではなく、牛やロバのいる汚い家畜小屋でした。そして、イエス様が生まれたその日に喜んでお祝いした人は、ほとんどいませんでした。だけど、その日にイエス様に出会うことのできた人たちがいたのです。それは一体、誰でしょう？</p>
□ポイント1 羊飼いたちは町外れで羊を飼っていました	<p>イエス様はユダヤのベツレヘムという町で生まれました(:6,7)。イエス様が生まれた夜、ベツレヘムの町には多くの旅人が宿屋に泊まっていました。それは、全世界で住民登録が行われていて、それぞれの先祖の町に戻って登録する必要があったからです。町中が多くの人で賑わっていました(:1-3)。</p> <p>ところが同じ日の夜、多くの人で賑わっていた町から遠く離れて、寂しく過ごしている人たちがいました。それは羊飼いです。羊飼いたちは、野宿で夜番をしながら羊の群れを見守っていました(:8)。いつも羊飼いは町外れに住んでいて、町の人々とあまり会うことのない仕事でした。町の人々が集まっているいろいろな話をしている、羊飼いはいつも町外れで羊を飼っていたので、新しい話を聞くことはあまりありませんでした。</p> <p>問い:羊飼いたちは、どんな気持ちで羊の番をしていたと思いますか？</p> <p>☞ 古代社会ではいわゆる「中産階級」は存在せず、ほとんどの人々は社会の下層に属していました。その中でも、特に羊飼いは軽蔑され、差別されていた人々の間でも不名誉を着せられることがありました(出典:山口雅弘「イエス誕生の夜明け」日本キリスト教団出版局、176-191 頁より)。</p>
□ポイント2 羊飼いたちは救い主の誕生を知りました	<p>そんな羊飼いたちのところに大ニュースを知らせにきた人がいました。それは、何と神様から遣わされた天使でした。天使が羊飼いたちのいた野原にやってきて、辺り一面が光に包まれました。その様子を見た羊飼いたちはとても怖くなりました(:9)。</p> <p>天使は羊飼いたちに言いました。「恐れることはありません。今、私はこの民全体のためのすばらしい喜びを知らせに来たのです。きょうベツレヘムで、あなたがたのために、救い主がお生まれになりました。この方こそ主キリストです。」(:10,11)</p> <p>救い主イエス様が生まれた夜、ベツレヘムの町には多くの人々がいました。しかし、神様が最初にイエス様の誕生を知らせようとして選ばれたのは町の中にいた人ではなく、町外れに住んでいたこの羊飼い</p>

たちだったのです。

問い: どうして神様は、イエス様の誕生を羊飼いたちに知らせたと思いますか？

□ポイント3 羊飼いたちは救い主に会いました

天使は羊飼いたちにイエス様の誕生を知らせた後、天に帰って行きました。それから羊飼いたちはお互いに言いました。「さあ、ベツレヘムに行って、神様が私たちに知らせてくださったこの出来事を見て来よう。」そして、羊飼いたちは救い主に会うため、町に急いで行きました(:15)。

羊飼いたちは町にたどり着いて、とうとう救い主イエス様を探し当てました。イエス様はお父さんのヨセフとお母さんのマリヤと一緒にいて、飼葉おけですやすやと寝っていました(:16)。

羊飼いたちは天使がイエス様の誕生を知らせてくれたこと、そしてイエス様が救い主であると言われたことを周りにいた町の人々に知らせました(:17)。町の人々は、目の前でかわいらしく寝ている赤ちゃんが救い主であるを知って、とてもびっくりしました(:18)。聖書の中で約束されていた救い主が、まさか目の前におられるとは夢にも思っていなかったからです。

羊飼いたちは天使が言ったことが本当であったこと、そして救い主にお会いすることができたことを喜んで、神様を賛美しながら帰って行きました(:20)。

- ☞ 教父ユスティノスは、イエス様がお生まれになった家畜小屋とは家畜避難用の洞窟であったと伝えています。また当時一般には、飼葉おけは石で作られていました(出典:『実用聖書注解』いのちのことば社、1099 頁より)。

□結論 羊飼いたちは救いの喜びに満たされました

□適用 (聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう)

イエス様は“すべての人を照らす光”です。イエス様はすべての人が救いの喜びに満たされるために、今も一人ひとりを招いておられるのです。イエス様が知らない人は誰もいません。もちろん、イエス様はあなたのことも知っておられます。あなたもイエス様を信じて、救いの喜びを受け取りませんか。

救い主に会った喜びがありますか？・・・1. 羊飼いのように救い主の誕生を知らせましょう。今年の教会のクリスマスに家族や友達を誘ってみませんか？2. 神様を賛美しましょう。以前の学課で新しい賛美を覚えようとお勧めしました。どの賛美が好きですか？

- ☞ 羊飼いたちが救い主に会うことができたということは、「やみの中を歩んでいた民は、大きな光を見た。死の陰の地に住んでいた者たちの上に光が照った。」(イザヤ 9:2)という預言の成就です。イエス様はすべての人々を漏れなく探し求められ、救いへ招いておられます。その救いへ「あなたも」招かれていると勧め励ましましょう。